

学費減免応急奨学生要項

1. この要項は、くらしき作陽大学・作陽音楽大学学費減免応急奨学生細則に基づき、運用に関する要項を定めることを目的とする。
2. この要項による奨学生制度は、本学の学生・大学院生の学資支持者（学費を納入する保護者等）が経済的急変を来したことにより、学費の納入が困難であると認められる者に対し適用し、学費を減免することで学業を継続させることを目的とする。
3. 奨学生の学費減免額は、前期・後期いずれかの授業料・教育運営費の半額とする。
4. 奨学生数は、各期につき大学3名、短大1名を限度とする。
5. 奨学生の選考基準は以下のとおりである。
 - (1) 経済的急変により学費の納入が困難であると認められること。
〔経済的急変〕①学資支持者の死亡または長期療養を要する病気
②学資支持者の失業または事業倒産等
③学資支持者の風水害等の自然災害被害
 - (2) 人物が良好であると認められること。
 - (3) 学業を継続する強い意志があると認められること。
6. 次のことが認められる場合は、奨学生としての奨学金減免を中止し支払を求める。
 - (1) 休学または長期にわたって欠席し、成業の見込みがなくなったとき。
 - (2) 学業成績または性行が不良となったとき。
 - (3) 学生の身分を失ったとき。
 - (4) 奨学金を必要としなくなったとき。
 - (5) その他奨学生として適当でないと認めたとき。
7. この要項による奨学生制度を希望する者は、経済的急変が生じた時期ごとに、別に定める「奨学生申請書」を提出しなければならない。
8. この要項に定められていない事項については、学長が定める。

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学

学費減免応急奨学生 申請書

平成 年 月 日

くらしき作陽大学
作陽音楽短期大学

学長 松田 英毅 殿

学籍番号

くらしき作陽大学	学部	学科	第 年
作陽音楽短期大学		音楽学科	第 年
平成 年 月 入学		平成 年 月 卒業予定	

フリガナ 氏名	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 満 歳

本人現住所	*自宅・自宅外 (〒)	TEL [- -]
-------	-----------------	-------------

主たる 学資支持者	氏名 (〒)	◎ 本人との続柄 ()	TEL [- -]
--------------	------------	--------------	-------------

家族構成	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	正・臨 (勤務形態)	自宅・自宅外 (学生のみ)
	父						
母							

理由書	経済的急変の理由を具体的に記載してください

以下の書類を添えて申請します。
 (1) 経済的急変が証明できる書類
 (2) 学資支持者の前年分の所得がわかる書類 (源泉徴収票、確定申告書の写、所得証明書等)
 [※学資支持者が複数の場合は全て提出してください]